

はじめに

2022 年度も前年に引き続きコロナ禍の 1 年でした。春先には一旦は収束の兆しがありましたが、夏頃から第 7 波が、さらに年末には第 8 波として感染が拡大しました。

コロナの第 8 波が終わり、2020 年に始まったコロナ禍もようやく収束されようとしており、徐々にコロナ禍以前の生活に戻りつつあります。それに伴い、オフィスに出社する比率も上がってきています。しかし、今後はすべてがオフィスに出社するのではなく、オフィスとテレワークが混在した働き方が普及すると思われまます。

コロナ禍により、テレワークやオフィス環境の DX が急速に進みました。クラウド、モバイル、IoT、AI 等の DX に関する技術が急速に進みました。特に AI 技術においては、ChatGPT をはじめとする生成 AI が目覚ましい進歩をし、オフィス環境でも利用され始めています。

また、デジタル化によりネットワークに接続される端末が増えることにより、情報セキュリティ対策の重要性がさらに増してきました。

技術調査専門委員会は、「当産業協会会員各社の大きなビジネス領域を占める画像技術とそれを取り巻くハードウェア・ソフトウェア技術に関する先端技術の調査・検討を行い、広く会員各社に紹介し、技術の向上に寄与する。」ことを基本方針として活動を行っています。

2022 年度も 2021 年度に引き続きコロナのために現地調査の実施は見送りましたが、2 件の講演会をリモートで開催しました。

また、報告書内の技術動向の特集として、気候変動などで社会的に意識が高まっている環境に関する動向と、オフィスの DX に関するソリューション技術に関する動向を調査してまとめました。

さらに、今年度は通常とは違う活動として、当委員会傘下にワーキンググループを形成し、急速に発展する AI 技術を会員各社が利活用するに際し、AI 倫理動向や AI 規制動向の調査と AI 利活用における注意点として本報告書とは別にまとめました。

本年度の報告書も、会員各社の皆様に広くご活用いただき、今後の会員各社の更なる発展に寄与できれば幸いです。

最後に、お忙しい中活動にご協力いただいた、会員各社、当専門委員会委員、AI 関連対応検討 WG メンバー、事務局の皆様には、心より感謝申し上げます。

2023 年 6 月

技術委員会 技術調査専門委員会
委員長 西原 雅宏

禁 無 断 転 載

2022 年度「ビジネス機器関連技術調査報告書」“はじめに”部

発行 2023 年 6 月

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)

技術委員会 技術調査専門委員会

〒108-0073 東京都港区三田三丁目 4 番 10 号リーラヒジリザカ 7 階

電話 03-6809-5010(代表) / FAX 03-3451-1770